

施策番号	施 策 名	予算額(百万円)	
562	エネルギー対策の推進	9,045	
【2010年度の目標】 さまざまなエネルギーを適切に組み合わせることにより、エネルギーの安定供給が図られ、快適な県民生活が維持されています。			
項 目	基準年度の状況	1999年度実績	2001年度の目標 (2010年度の目標)
県施設での太陽光発電 施設の発電能力	98kW	362.2kW	485kW (1,500kW)
RDF発電施設の発電 能力	0kW	0kW	7,000kW (14,000kW)
水力発電施設での発電 能力	96,000kW	97,800kW	98,000kW (99,200kW)

これまでの取組

地域に密着した新エネルギーの計画的な利用等を進めるため、平成11年度に策定した「三重県新エネルギービジョン」に基づき、平成12年度には県の公共施設や公共事業への新エネルギーの率先導入を図るための導入指針を策定するとともに、新エネルギー導入のための支援施策の創設、普及啓発施策についての検討を行いました。

また、資源循環型社会の構築を目指して、一般可燃ごみのもつ廃棄物エネルギーの有効活用を図るため、RDF焼却・発電施設整備事業に係る工事請負契約を締結し、工事に着手するとともに、既設の水力発電所の機能維持を図るため、各種の設備改良工事を実施しました。

平成13年度の取組

平成13年度においては、新エネルギービジョンを具体化させるため、「公共施設等への新エネルギーの導入指針」に基づき、公共施設等に新エネルギーを率先導入するとともに、太陽光発電にかかる市町村の取り組みに対する財政支援や市町村、住民に対する普及啓発を行います。

また、多様なエネルギー源を活かし、資源エネルギーの有効活用による資源循環型社会の構築を図るため、バイオマスエネルギー活用調査やRDF焼却・発電施設整備事業を推進するとともに、水力発電では宮川ダム維持流量発電等について、建設コスト等を十分検討し事業を進め、既設発電所については計画的な改良、修繕を行います。

主な事業

1(新)地球にやさしい新エネルギー導入推進事業 (72,824(0)千円)
【(101)地球にやさしいエネルギー対策の推進事業】〔総合企画局〕

(1) 率先導入

「公共施設等への新エネルギーの導入指針」に基づき、公共施設等に新エネルギーを率先導入します。

(2) 導入支援

- ・市町村が行う住宅用太陽光発電に対する単独補助事業を支援します。
- ・エコスクール事業等を利用して学校に太陽光発電を導入する市町村、学校法人を支援します。

(3) 普及啓発

新エネルギーに対する知識関心を高めるために、イベント、講習会等の普及啓発に取り組みます。

- 2 RDF発電施設建設事業 (1,211,466(0)千円)
【(202)電気事業】〔企業庁〕

市町村で製造されたRDFの安定的な受け皿として、RDF焼却・発電施設を広域的なモデル施設と位置づけて、平成14年12月の運転開始に向け整備を進めます。

- 3(新)バイオマスエネルギー活用調査事業 (10,000(0)千円)
【(202)電気事業】〔企業庁〕

県内に分布する農林畜産系廃棄物エネルギーの活用調査を行い、「バイオマスエネルギー活用システム」を作成します。

- 4 宮川ダム維持流量発電 (28,332(0)千円)
【(202)電気事業】〔企業庁〕

選択取水設備の調査(県土整備部実施)にあわせて、維持放流エネルギーの発電利用の具体化について検討します。